

伝国の杜 こども狂言クラブの一年



「和泉流狂言師山下浩一郎先生による稽古⑥」

平成 25 年 12 月 1 日（日）

伝国の杜こども狂言クラブは、平成 25 年 12 月 1 日（日）に山下浩一郎先生による稽古を行いました。この日は、山下先生の指導のもと、4 月から稽古をしてきた演目を、能舞台でおさらいしました。

◆狂言「盆山」



すり足など移動の練習

初めての能舞台での稽古です。最初から最後まで型（動き）を覚えます。特に、冒頭はストーリーの背景を説明する重要なセリフが並ぶシーンなので、お客様に理解してもらえるようハキハキと発声します。腰から下は常に同じ体勢で、上半身はただ乗っているだけになるように、基本の所作「すり足」も再確認します。

◆小舞「七つ子」



身体の動きを確認する場面

舞を一人ずつ練習し、初めての型は繰り返し丁寧に稽古を重ねます。

◆狂言「鐘の音」



1対1での稽古

狂言「鐘の音」は一人で演じるので、一人稽古です。山下先生が丁寧に指導していました。

◆小舞「風車」



舞の練習



弓引きの型

謡は全員で1回通して練習し、次に舞を練習しました。まずは、一人ずつ舞の型の修正です。発表会で一人ずつ舞うのは時間がかかるため、3人で舞う方法を検討しますが、発表会でどうするかは現時点では保留となりました。

◆小舞「仏師」



ペアでセリフ合わせと型の確認

前回決めた配役に基づき、二人ずつセリフ合わせと動きの指導を受けました。待っている間も、自分の稽古に役立つように、仲間の稽古を見学します。

○取材日 平成 25 年 12 月 1 日（日）

詳細：[こども狂言クラブ稽古日](#)

会場：伝国の杜・能舞台

○取材協力 伝国の杜こども狂言クラブのみなさん

指導者 和泉流狂言師 山下浩一郎先生

公益財団法人米沢上杉文化振興財団 伝国の杜・置賜文化ホール

○執筆編集 置賜文化フォーラム編集員 佐藤道代